

真の景気回復へ、社会保障の拡充こそ！  
人にやさしい政治の実現をめざして

# 北海道社保協 第20回定期総会へ



社会保障改悪や規制緩和などの悪政によって、格差と貧困が広がり、国民の命と生活が脅かされ、手遅れ死など「命が奪われる」事態が生まれています。

生活保護基準は今年8月分から、年金等は12月支給分から連続して引き下げ、来年4月からは消費税増税を行おうとしています。また、社会保障の改悪内容を、社会保障制度改革国民会議や自公民三党協議で、夏までにまとめ、制度改革を狙っています。そのため、マスコミや教育なども利用して、「自己責任」などを刷り込ませ、国民を分断する働きかけを続けています。

一方で、「消費税増税はやめろ」「社会保障の拡充を」「まともな暮らしを保障しろ」の世論と運動が広がり、生活保護や年金が引き下げられた場合の全国的な不服審査請求など大運動も予定されています。脱原発、TPPなど共同したたたかいが広がり、財政難で苦しむ地方自治体関係者との連携も生まれています。

住民の困難は身近で起きています。地域の住民の実態や要求に基づいて活動する社保協の役割が求められています。

## 特別報告

「生活保護」 道生連  
「国保」 札幌社保協  
「年金」 年金者組合

焦点となっている3つの分野について、実態とたたかいの方向を報告します。

2013年6月1日（土）  
13:30～17:00  
札幌市教育文化会館

305研修室（札幌市北区北1西13）

資料代 500円

北海道社会保障推進協議会

札幌市北区北14西3 電話(011)758-2648 FAX(011)758-4666  
shahokyo@dominiren.gr.jp <http://hokkaido-syahokyo.com>